



09 宇航利事推 0714001

平成 21 年 7 月 15 日

陸域観測技術衛星 (ALOS) データ利用公募型共同研究契約延長について

京都市左京区北白川追分町
国立大学法人京都大学大学院
農学研究科長 遠藤 隆 殿

独立行政法人宇宙航空研究開発機構
宇宙利用ミッション本部
事業推進部長 浜崎 敬

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は陸域観測技術衛星 (ALOS) データ利用公募研究にご尽力いただき、ありがとうございます。

貴機関との下記の共同研究について、当機構で実施した評価の結果、研究期間を延長することを決定しましたので通知いたします。

つきましては、添付の陸域観測技術衛星 (ALOS) データ利用公募型共同研究 変更契約書をもって契約延長の手続きを行います。変更契約書を 2 部同封いたしますので、内容をご確認のうえ押印いただき、1 部を下記宛に郵送いただきたくお願い申し上げます。

今後とも引き続き ALOS の研究推進にご協力頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

代表研究者 (P I) 名 : 近藤 直氏 (PI No.320)

研究テーマ : 高分解能光学センサの指向誤差評価および補償法に関する研究

変更契約書送付先 : 〒305-8505 茨城県つくば市千現 2-1-1

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

宇宙利用ミッション本部

事業推進部 岩木 環、峯島 直美

注) 本共同研究に基づく ALOS 以外の地球観測衛星データの提供のうち、SPOT 及び RADARSAT のデータについては、現在提供を中断させていただいております。予めご了承ください。尚、データ提供についてのご案内は、別途、EORC オーダーデスクから連絡させていただきます。

以上



陸域観測技術衛星 (ALOS) データ利用公募型共同研究 変更契約書

独立行政法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）と国立大学法人京都大学（以下「京都大学」という。）は、「陸域観測技術衛星（以下「ALOS」という。）データ利用公募型共同研究約款」（以下「原契約書」という。）を、次のとおり変更する。

1. 両者の署名を持ち、原契約書第3条に記載される研究満了日を「平成21年7月31日まで」から「平成23年3月31日まで」に変更する。
2. その他の事項については、原契約書のとおりとする。

以上の合意の証として、本変更契約書2通を作成し、JAXA及び京都大学双方の代表者が記名押印のうえ、各々1通を保有する。

平成21年7月31日

茨城県つくば市千現 2-1-1

独立行政法人宇宙航空研究開発機構

宇宙利用ミッション本部

事業推進部長 浜崎 敬



京都市左京区北白川追分町

国立大学法人京都大学大学院

農学研究科長 遠藤 隆

